

アンケート結果(2日目:炭素鋼について)

対象:機械2年1組 33名 機械2年2組 39名 計72名

[1] パソコンやプロジェクタを使った授業はどうであったか。○を付けなさい。

	M2-1	M2-2	計	
① よく理解できた	12	12	24	34.3%
② だいたい理解できた	18	24	42	60.0%
③ 分かりにくかった	2	3	5	7.1%
無回答	1	0	1	1.4%
計	33	39	72	

[2] 炭素鋼に対し理解できましたか。○を付けなさい。

	M2-1	M2-2	計	
① よく理解できた	2	5	7	10.0%
② だいたい理解できた	28	31	59	84.3%
③ 理解できなかった	2	3	5	7.1%
無回答	1	0	1	1.4%
計	33	39	72	

[3] [2]で「①よく理解できた」に○を付けた人は、理由は何ですか。

- ・ 図や特徴をしっかりとめてあって理解しやすくなったから。
- ・ 色の使い方など分かりやすかった。

[4] [2]で「③理解できなかった」に○を付けた人は、理由は何ですか。

- ・ 時間が短かったから。
- ・ 難しい内容だったから。

[5] 感想

- ・ 普通の授業より分かりやすかった。
- ・ プロジェクタを使うとグラフとか出て分かりやすかった。しかし、少し進むのが早かった。
- ・ 炭素鋼の変化をアニメーションで変わるのが分かりやすかった。
- ・ 炭素鋼はどのような性質をしているかが分かった。温度によっても性質が違ってくるのが分かった。
- ・ 時間が早く過ぎていった。楽しかった。
- ・ プロジェクタの授業は割と分かりやすかった。
- ・ 内容が難しかった。
- ・ グラフなどで表してあったので、パッと見てすぐ理解しやすかった。色彩豊かで分かりやすかった。
- ・ 性質や特徴が難しかった。
- ・ 無駄なことを省いて要点だけをパソコンで授業していたのでよかった。
- ・ 少し字が小さく見えないところがあった。
- ・ よく分かりやすく表にまとめてあったのでよかった。
- ・ スムーズに授業が進んでいてよかった。

考察

今回の授業内容では、炭素鋼の温度と炭素量による変化を、状態図を見て読み取ることがきるかがポイントであるが、学術的で大変難しい内容であるので、今までは説明をするにもしづら分野であった。そこで、生徒たちの理解を深め分かりやすく表現するため、アニメーションを取り入れたり、カラーで組織の違いをはっきりと示すことができる教材とした。アンケート結果から94.3%の理解ができたであったので、多くの生徒が理解することができたように思える。ただ、後ろにいる生徒にとってはスクリーンがやや小さいために映像が小さく字が見えづらかったようである。スライドと同じ資料を配布しておいたが、資料と照らし合わせながら進めていくよう心掛けなければならないと思った。

